

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2022年4月1日 223号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



授乳



新体験



## 養豚

レダ訪問者たちに大人気の養豚場



自由に行動する豚たち。母豚と幼い子豚は豚舎で飼育する。



餌やり合図の鐘を鳴らすと、全力疾走で集まってくる。

## 幸せな豚を育て、健康的な豚肉を！

「アニマルウェルフェア」という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか？

一般社団法人アニマルウェルフェア畜産協会のホームページによると、「アニマルウェルフェア (Animal Welfare)」とは、感受性を持つ生き物としての家畜に心を寄り添わせ、誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り少なく、行動要求が満たされた、健康的な生活ができる飼育方法をめざす畜産のあり方です。

欧州発の考え方で、日本では「動物福祉」や「家畜福祉」と訳されてきました」とあります。

ここでは「アニマルウェルフェア」について詳しくは、ご関心のある方は、ウェブページを検索してみてください。

レダ(日陽園)では、牛、馬、豚、羊、ヤギ、犬、七面鳥などの家畜を飼育しています。過去には鶏卵用のニワトリも100羽ほど飼っていました。広大な土地があるため、いずれの家畜も「放し飼い」になっています。日中は自由に歩き回って食べ物を探し、繁殖行動をし、夕方になると豚舎、羊小屋、鶏舎など、それぞれのねぐらに帰って夜を過ごすのです。

レダ基地を訪れるゲストたちが見てとても喜ぶのが、養豚場です。草原、湿地、ヤシ林などを自由に歩き回る豚を初めて見て、「レダの豚は世界一幸せな豚だ！」という感想もありました。豚に餌をやったり、子豚を抱っこしたりして、豚と触れ合えることも魅力の一つです。

豚の行動範囲はかなり広く、流れを泳いで対岸の草原に行くこともあります。また、自由はあるのですが、その代わり、猛獣ジャガーの餌食となつて、命を落とすこともあります。

レダの豚は筋肉質で、その肉は脂肪分が少なくて固めですが健康的です。アニマルウェルフェアの考え方が南米とパラグアイ社会によく浸透すれば、レダの豚に高い付加価値を認める消費者が多くなり、商業生産に移行できるでしょう。



していた大元勘治氏が、3月9日、約1か月ぶりにレダに帰ってきました。また元氣よく活躍されることでしよう。さっそく送られてきた写真をどうぞ。

アスンションで静養生活を



利用した定期便 オリンポにて。



レダの滑走路と果樹園(右)の間の道。小鳥が多い所



上空より望むレダ基地(下)とパラグアイ川。左が上流。

源田 礼奈（げんだ れいな）さん…昨年4月にレダに赴任した4名のボランティアの一人。今年2月に帰国するまで、他の3名と同様、熱心に奉仕活動をしてきました。第21回国際協力青年奉仕隊員。

してきました。第21回国際協力青年奉仕隊員。

**Q** レダではどんなことを担当しましたか？

**A**レダの「今」を伝えたいという思いから広報を主に担当していました。毎週、レダの1週間の出来事を写真でお届けする「日曜園便り」を、伊達先生から引き継いで発行していました。また日本でレダを応援してくれている青年たちと協力し、2ヶ月に1度、オンラインイベントを開催しました。その第3回には4ヶ国語同時通訳で行い、世界から150名以上の方がイベントに参加してくださいました。

**Q** レダに初めて到着した時の印象は？

▲レダに到着した時、野生のワニを初めて見ることで、蚊の多さや日差しの強さなど日本との違いに戸惑いましたが、その中で20年以上も歩んで来られた先生方や、70代でも最前線で歩む先生方の姿を見て、驚きと尊敬の気持ちを持ちました。

**Q** レダで最も苦心したことは何ですか？



岩澤所長の誕生祝にて、所長と源田さん。

**A** 朝5時〜夜7時頃までお仕事や全体でのスケジュールがあり、休憩時間もありますが、体力的に慣れるまでに時間がかかりました。  
**Q** レダで最もうれしかったことは何ですか？  
**A** レダで嬉しかったことは沢山あります

A photograph of a woman with dark hair and glasses, smiling and holding a small turtle in her hands. She is wearing a light-colored jacket. The background is a grassy field with trees in the distance under a clear sky.

丸くなったムツオビアルマジロと源田さん。



丸くなったムツオビアルマジロと源田さん。

やオオアリクイ、ドラドなど、日本では出会えない野生動物にも会えることができ、感動しました。

**Q** 日本と世界の皆様に、最も伝えたいことを一言。

**A**レダには、日本とは全く違う環境と大自然があります。レダ周辺の村々には、浄水設備がないため、川の水をそのまま飲み水として利用している人々もいます。レダでは、電気・電波・社会制度など日本



マリア・アウシリアドーラでは奉仕隊員として。

社会制度など日本では当たり前だと思っていたことも、不便に感じることもありました。しかし、多くの方々のおかげで生活できていたことを痛感しました。私はレダで歩み、世界が大きく広がりました。ぜひ多くの青年がレダに行き、多くのことを体験して、学び取ってほしいです。



# 持続可能な福地建設をめざして10

## 社会的インフラをどう整備するか

和田賢一



9 産業と技術革新の基盤をつくる



11 住み続けられるまちづくりを

これまで9回にわたって、国際連合が進めている持続可能な開発目標（SDGs）に関して、ゴールの順を追いつつ、私たち南北米福地開発協会のめざす南米パラグアイ・レダにおけるプロジェクトと深い関わりがある記述を中心に論じてきました。

全17ゴールの半ばまで論考してきましたが、SDGsの目標があまりにも広大で、奥深く、崇高なものであることを実感しているのは私だけではないでしょう。したがって、私たちが推し進めているプロジェクトとは、現時点で噛み合わないものも多々ありました。さらに後半のSDGsについても同様のことが言えます。その一つがゴール9番とゴール11番でしょうか。

9番は「強くしなやかなインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進を図る」、11番は「包摂的で安全かつ強くしなやかで持続可能な都市および人間居住を実現する」です。この文言を読む限り、目標の広大さ、奥深さは一目瞭然でしょう。

社会的インフラは、水道・電気・ガスといった生活上のエネルギー供給設備から、車・バス・鉄道・飛行機といった移動手段、学校・病院・図書館・体育館といった医療、教育分野の施設建設まで含まれます。それをすべての人々に提供するのには、国、自治体、基幹産業の役割ということになります。

人が住む住居の提供と計画的な都市建設についても、同様のことが言えます。戸建てを入手するにも、共同住宅の一室を購入するにも、個人の経済的な豊かさが必要条件でし、そもそもそれらを提供する健全な企業があつてこそ可能でしょう。さらに住宅の集合、それに隣接する諸施設の建設をはじめ、広域的な環境整備の青写真が、自治体や民間団体によって描かれなければ不可能でしょう。

現在、私たちが取り組んでいる各プロジェクトは、

まだ端緒を切ったところです。したがって、このゴール9、ゴール11は、私たちがステージアップした時に具体的に論じることとなると理解しています。それでも、示唆に富む指摘も多数あることには注目しておかなければならないと思います。

ゴール9では、「資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善」が必要であると説いています。また「産業の多様化や商品への付加価値創造を通じて、開発途上国の国内における技術開発、研究およびイノベーションを支援すること」を推奨しています。いかなる活動も環境への配慮と、途上国への技術提供の姿勢が基本であると言えましょう。



一般的な家屋。村のサランペス地方、チャコ

グアイのチャコ地方、そしてパンタナールという大自然の遺産の中で活動する私たちにとって、心すべき指摘ではないでしょうか。

また「女性、子ども、高齢者および障害者を含め、人々に安全で包括的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する」としています。これまで私たちが派遣した青年ボランティア隊が、レダ周辺の町に公園を造ったり、街路樹を植えたりしたことが、SDGsの「都市づくり」の視点と重なり合い、改めてその意義が確認できます。SDGsで「住居」について指摘するにはそれな

りの理由があります。それは開発途上国でのスラム街問題が深刻さを増していることに一因があります。国連の一機関「国際連合人間居住計画」の調査によると、21世紀初頭では10億人がスラム街に住んでいるということでした。SDGsの目標年2030年にはその人数が倍の20億人になるとの試算です。スラム街は世界中に存在し、特に南米、東南アジア、サハラ以南のアフリカに多いといわれ、形態はさまざまですが、地方での困窮した生活から逃れるために都市に流入して形づくられる傾向が強くなっているといわれています。南アフリカのソウェト地区では数百万人に膨れ上がっています。スラム街の一番の課題はその危険性です。専門家は次のような危険性を挙げています。●国家機関の手が届かないため、非合法な組織の拠点となり、暴力犯罪や違法薬物、売春などの温床になる。



姉妹。村のサランペス地方、チャコ

●非衛生的な環境によって伝染病、感染症が蔓延してパンデミックの発生源となる。最近の新型コロナウイルス感染症の際にも指摘されたことは耳新しい。

●住居としてさまざまな設備が整っていない。消防設備の不備で、漏電などによる火災の発生源となる。スラム街のある場所が高地であれば山崩れ、崖崩れの危険性があり、河川の近くであれば水害などに巻き込まれるリスクが高くなる。

こうした指摘から各国ではスラム街の撤去を進めています。貧困、医療、教育などの問題と深く絡み合っていて、遅々として進まないのが実情です。とまれ、家は人としての基本的な生活の場。ささやかな家にも恵まれない人々が大勢いることを忘れずに活動を展開していきたいものです。（つづく）



# レダ2022年のモットー「前進と発展」

## 岩澤春比古所長がレダプロジェクトを語る

3月5日、東京・渋谷で行われた当協会の定例会において、一時帰国中の岩澤所長が、レダで歩んだ自身の経験に基づく所感と、レダの現状と未来の展望とを語りました。



語る岩澤春比古所長

タイトルは「レダで4年4か月歩み、一番重要であると思ったこと、そしてレダの今とこれから」でした。岩澤所長は、文総裁夫妻による日陽園プロジェクト提唱の理念を端的にまとめ、私たちが開拓当初より共有するビジョンを改めて明快に整理しました。現在の中心課題として、経済的自立を達成すること、若者をプロジェクトの中心者・責任者として育成し、基地スタッフの世代交代を進めることなどを列挙。そして、そのために実行中の計画を、一つずつ具体的に説明しました。最後に、レダ2022年のモットー「前進と発展」を力強く宣布しました。

## 島田さんの家族がレダ移住を前にあいさつ

その定例会のはじめ、記念すべきゲスト紹介の一幕がありました。それは、家族そろってレダに移住するため、今月23日に出発する予定の、島田賢二さん、香月さんと4人の子どもたち。小二の長男から、生後10か月の次女まで、2男2女を擁する総勢6名の家族です。「島田青年局長夫妻が、まだ幼い子を4人も連れてレダに移住する」という話は、これまで何度も人々に伝えられてはいたものの、実地で揃ってのお披露目は初めてでした。



島田家の皆さん



プレゼント

盛大な拍手とともに6名が壇上に勢ぞろいすると、聴衆から感嘆の声がマスク越しに発せられました。そして賢二さんが一人ずつ家族の名前と年齢を紹介し、移住の決意と抱負を語りました。妻の香月さんは、感謝の言葉とともに「私たちの家族がレダに行くことで、他の独身青年や家庭青年たちが『自分たちも行こう』と思えるように頑張りたいと思います」と挨拶しました。続いて記念撮影をし、最後に中田欣宏代表理事からプレゼントが一人一人に手渡されました。

## 一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: <https://asd-nsa.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/ledaproject.jp/>

## 会員の皆様へ

会員の皆様には、周囲の方々にレダ・プロジェクトを紹介し、入会の案内をしていただければ幸いです。紹介用のパンフレット（印刷済み）、および入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。



入会申し込みは、左のQRコードから、グーグルフォームでも行えます。

パソコンでは、下記のURLにアクセスしてください。

<https://asd-nsa.com/nk/>

## レダ・プロジェクト紹介用パンフレットPDF版



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>